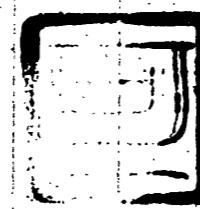


御親授



閑二二七



陸軍歩兵中尉正三位勳一等早爵大浦兼武

任内務大臣

任大藏大臣

正四位勳一等若槻禮次郎

陸軍中將從三位勳一等功一級男爵木越安綱

任陸軍大臣

檢事正四位勳二等松室致

任司法大臣

從三位勳一等榮田家門

任文部大臣

正四位勳二等仲小路蘆

任農商務大臣

正三位勳一等男爵後藤新平

任遞信大臣兼鐵道院總裁拓殖局
總裁

外務大臣子爵内田康哉

依願免本官

内務大臣兼鐵道院總裁原敬

依願免本官立魚官

大藏大臣山本達雄

陸軍大臣男爵上原勇作

司法大臣松田正久

文部大臣長谷川純孝

依願免本官

依願免本官立魚官

農商務大臣兼文部大臣男爵牧野伸顯

逸信大臣伯爵 藤林 董
拓殖局總裁元田 肇

依願免本官

右 勅旨ヲ奉シ謹テ奏ス

大正元年十二月

内閣總理大臣公爵桂 大郎

臣康哉敢テ自カラ揣ラス叱リニシラ外務

大臣ニ受ケ日夜憂慮一意報效ヲ期シタリ

シニ宿病端ナク累ラ成シテ眇軀重任ニ勝ヘ

又恐懼寔ニ措ク所ヲ知ラヌ仰モ願ハラ幸ニ

聖慈ヲ垂レ速カニ現任ヲ解キタマハムコトヲ

臣康哉誠惶誠恐謹奏入

大正元年十二月四日

外務大臣子爵内田康之

臣敬敢テ自カラ揣ラス叨リニ乏ラ内務大臣兼
鐵道院總裁受ケ日夜憂慮一息報效ラ期シタリ
シニ宿病端ナク累ラ成シテ眇幅重任ニ勝ヘ
人恐懼寔ニ措ク所ヲ知ラス仰キ願ハクハ幸
聖懸ラ垂レ速カニ本官並ニ兼官ヲ解キタマハムコトヲ

臣 敬 誠惶誠恐謹々 奏入

大正元年二月四日

内務大臣兼
鐵道院總裁

東方

臣達雄敢テ自カラ端ラス叱リニシラ大蔵

大臣ニ受ケ日夜憂慮一意報效ヲ期シタリ

シニ宿病端ナク累ラ成レテ耿軀重任ニ勝ニ

入恐懼宣ニ措ク所ラ知ラス仰キ願ハクハ幸ニ

聖懸ラ垂レ速カニ現任ラ解キタマハムコトヲ

臣達雄誠惶誠恐謹々奏入

大正元年十二月四日

大蔵大臣 山岸達雄

臣正久敢テ自カラ端ラス叻リニシラ司法

大臣ニ受ケ日夜憂慮一意報效ラ期シタリ

シニ宿病端ナク累ラ成レテ眇軀重任ニ勝ヘ

又恐懼寔ニ措ク所ヲ知ラス仰キ願ハラハ幸ニ

聖懸ラ垂レ速カニ現任ヲ解キタマハムコトヲ

臣正久誠惶誠恐謹々奏入

大正元年十二月四日

司法大臣 松田正久

臣純序敢テ自カラ揣ラス叨リニ乞ラ支部

大臣ニ受テ日夜憂慮一意報效ヲ期シタリ

シニ宿病端ナク累ラ成シテ耿軀重任ニ勝ニ

又恐懼寔ニ措ク所ヲ知ラヌ仰キ願ハヌ幸ニ

聖懸ヲ垂レ速カニ現任ヲ解キタマハムコトヲ

臣純序誠惶誠恐謹之奏ス

大正九年十一月

文部大臣長谷場純孝
考

臣伸顕敢テ自カラ揣ラス叨リミテ農商務大臣

魚文部大臣ニ受ケ日夜憂慮一意報效ヲ期シタリ

シニ宿病端ナク累ラ成シテ耿軀重任ニ勝ニ

ス恐懼寔ニ措ク所リ知ラス仰キ願ハクハ幸ニ

聖慈ヲ垂レ速カニ現任ラ解キタマハムコトヲ

臣仲顯誠惶誠恐謹々奏ス

大正元年十一月四日

農商務大臣魚
文部大臣男爵牧野仲顯

臣董敢テ自カラ揣ラス叨リ乞フヲ速信

大臣ニ受ケ日夜憂慮一意報效ヲ期シタリ

シニ宿病端ナク累ラ成シテ眇軀重任ニ勝ヘ

入恐懼寔ニ措ク所ヲ知ラス仰キ願ハクハ幸

聖慈ヲ垂レ速カニ現ニシテ解キタマハムコトヲ

臣董誠惶誠恐謹之奏入

大正元年十二月

遞信大臣伯爵 林 壇

臣肇

毛 拓殖局總裁 座ケ一意

報勅 ラ 因リシニ宿病累ツ成

シ微躬宣仕地ニ久仰申候

聖懸ヲ奉臣力現任ヲ解キ給

シヨドツ 医肇誠惶誠恐謹呈

卷六

聖應ヲ奉レ臣カ現仕ラ解キ給

シコトヲ臣岸俄惶誠得禮

卷之

大正元年二月

日

拓殖勅諭元田岸

診断書

元田肇

一病名 神經衰弱症

右者神經衰弱症ニ治療中處
安靜療養必要トシテ 診断候也

東京市神田区小川町九番地

大正元年拾貳月 日 醫師林伊興造

診断書

元田肇

一病名 神經衰弱症

右者神經衰弱症ニ治療中處
安靜療養必要シト
診断候也

東京市神田正小川町九番地

大正元年拾貳月 日 醫師林伊與造



右

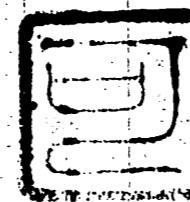
勅旨ヲ奉シ謹テ奏ス

大正元年十二月

内閣總理大臣公爵桂太郎

特ニ前官、禮遇ヲ賜フ

正三位勲一等侯爵西園寺公望



閏二三八

